

## コーポレート・ガバナンス（実践編）e-ラーニングコース シラバス

	ドラマ				
	はじめに				
1	セクション 1: 取締役会の役割	1-1	レッスン 1: CGC の定める取締役会の 3つの責務	1-1-1	企業戦略などの方向性を示す ・原則の文言 ・原則同士を合わせて読むと
				1-1-2	適正なリスクテイクを促す環境を整備する ・リターンが見込めるリスクテイク ・報酬体系との連動 ・Claw back
				1-2-1	経営陣・取締役を監督する ・対立構造（対立の構図） ・Manage and direct ・社会的責任 ・利益相反の意味は広い ・Principal and Agent, and "Agency Slack" ・立場対立（身内の論理） ・分離して一方が他方を監督
				1-2-1	経営陣・取締役を監督する ・対立構造（対立の構図） ・Manage and direct ・社会的責任 ・利益相反の意味は広い ・Principal and Agent, and "Agency Slack" ・立場対立（身内の論理） ・分離して一方が他方を監督
				1-2-1	経営陣・取締役を監督する ・対立構造（対立の構図） ・Manage and direct ・社会的責任 ・利益相反の意味は広い ・Principal and Agent, and "Agency Slack" ・立場対立（身内の論理） ・分離して一方が他方を監督
				1-2-1	経営陣・取締役を監督する ・対立構造（対立の構図） ・Manage and direct ・社会的責任 ・利益相反の意味は広い ・Principal and Agent, and "Agency Slack" ・立場対立（身内の論理） ・分離して一方が他方を監督
		1-3	レッスン 3: 海外との比較	1-3-1	他国を視野に日本の場合を検討 ・各国の特徴 ・日本の場合 ・アメリカの場合 ・日本でもアメリカでも効果的な仕組み ・キャドバリー報告書 ・EUの政策文書 ・各国を俯瞰して
				1-3-1	他国を視野に日本の場合を検討 ・各国の特徴 ・日本の場合 ・アメリカの場合 ・日本でもアメリカでも効果的な仕組み ・キャドバリー報告書 ・EUの政策文書 ・各国を俯瞰して
				1-3-1	他国を視野に日本の場合を検討 ・各国の特徴 ・日本の場合 ・アメリカの場合 ・日本でもアメリカでも効果的な仕組み ・キャドバリー報告書 ・EUの政策文書 ・各国を俯瞰して
				1-3-1	他国を視野に日本の場合を検討 ・各国の特徴 ・日本の場合 ・アメリカの場合 ・日本でもアメリカでも効果的な仕組み ・キャドバリー報告書 ・EUの政策文書 ・各国を俯瞰して
				1-3-1	他国を視野に日本の場合を検討 ・各国の特徴 ・日本の場合 ・アメリカの場合 ・日本でもアメリカでも効果的な仕組み ・キャドバリー報告書 ・EUの政策文書 ・各国を俯瞰して
				1-3-1	他国を視野に日本の場合を検討 ・各国の特徴 ・日本の場合 ・アメリカの場合 ・日本でもアメリカでも効果的な仕組み ・キャドバリー報告書 ・EUの政策文書 ・各国を俯瞰して
		1-4	レッスン 4: 役員力		・まとめ ・タイミング ・言うべき時期 ・言うべきことを言う ・社内取締役も同じ
					・まとめ ・タイミング ・言うべき時期 ・言うべきことを言う ・社内取締役も同じ
					・まとめ ・タイミング ・言うべき時期 ・言うべきことを言う ・社内取締役も同じ
					・まとめ ・タイミング ・言うべき時期 ・言うべきことを言う ・社内取締役も同じ

2	セクション 2: 独立社外取締役	2-1	レッスン 1: 社外取締役の重要性	・モニタリング・ボードとは		
				・モニタリング・ボードで絶対に必要なものー社外取締役		
				・社外取締役だけではダメ		
		2-2	レッスン 2: 3つの委員会	・個人に頼ってはダメ		
				・立場対立再論		
				・立場対立を取り去る方法ーいない方がいい		
		2-3	レッスン 3: 社外取締役の有効活用	・EU政策文書の3委員会		
				・委員会と日本		
				・任意の委員会		
・社外者のみの会合						
・手続、既定の整備						
・社外役員だけの会合						
3	セクション 3: 実践へのヒント	3-1	レッスン 1: 具体例でみる取締役会の2つのあり方	・筆頭社外取締役		
				・アドバイザー費用		
		3-2	レッスン 2: 復習	・情報共有		
				・取締役会の自己評価		
		3-3	レッスン 3: 終わりなき旅	・役員研修		
				・自社の「コーポレートガバナンス・ガイドライン」策定のすすめ		
				・良い例と悪い例		
						・モニタリングボードの役割
						・「取締役」の役割と「経営者」の役割
				・客観性、手続的正当性の重要性		
				・常に最大化、休みはない		
				・ベストプラクティス		